

- 問1 明治政府は1875年、ロシアとの間で北方の国境を確定させるための条約を締結しました。この条約において、日本が千島列島を領有する代わりに、ロシア領として確定した地域はどこですか。 (2023年 石川県公立入試 類似)
1. 樺太 2. 小笠原諸島 3. 沖縄 4. 択捉島
- 問2 明治時代の政治の動きをまとめた資料において、明治政府による藩閥政治を批判し、国民が政治に参加する権利を求めて全国に広がった政治・社会運動について述べられています。この運動が政府に対して強く求めた内容の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. 国会の開設や憲法の制定 2. 廃藩置県や版籍奉還 3. 殖産興業や地租改正 4. 治外法権の撤廃や関税自主権の回復
- 問3 下関条約の締結後に行われた「三国干渉」の背景やその後の影響に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 福岡県公立入試 類似)
1. 三国干渉を受けた日本国内では、清への同情が集まり、その後の日清関係が劇的に改善した。 2. ロシアが自国の東アジア進出を有利にするため、日本が獲得した遼東半島の返還を要求した。 3. イギリスが日本の勢力拡大を恐れ、ロシアやフランスと協力して日本に軍事的な圧力をかけた。 4. 日本は三国干渉を拒否して遼東半島を保持し続けたが、その見返りとして清に賠償金を全額返還した。
- 問4 明治時代、政府が「殖産興業」を推進したことにより日本の社会や経済は大きく変化しました。この政策がもたらした変化の説明として、最も適切なものを選択してください。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
1. 政府が伝統的な家内制手工業を保護したため、農村部では自給自足の体制が維持され、輸出額は減少した。 2. 武士が中心となって政治を行う体制が継続されたため、工業化よりも軍備の近代化のみが優先され、民間工場は衰退した。 3. 生産の機械化が進んだことで製品の輸出が可能になり、工場で働く労働者が急増して近代的な社会構造が形成された。 4. 石炭や鉄鋼などの重工業が最初から発展の主役となり、軽工業における女性労働者の数は減少した。
- 問5 明治維新後の政治体制が整えられていく過程において、1868年に天皇が神に誓う形式で発表され、公議世論の尊重や開国和親など新政府の基本方針を示した文書を何とといいますか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 大日本帝国憲法 2. 民選議院設立の建白書 3. 五箇条の御誓文 4. 教育勅語
- 問6 大日本帝国憲法下の帝国議会において、衆議院の議員はどのような方法で選出されることになっていましたか。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
1. 内閣総理大臣が推薦した人物の中から、天皇の裁可によって任命された 2. 一定の直接国税を納めた25歳以上の男子による投票で選出された 3. 各府県の知事が、地域の有力者の中から実務経験に基づいて指名した 4. 皇族や華族、あるいは天皇から任命された者などで構成された
- 問7 20世紀初頭のヨーロッパにおける国際関係の説明として、当時の各国の同盟・協商関係の背景や特徴を正しく述べているものはどれですか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
1. ドイツはオーストリア、イタリアと三国同盟を結んで中心勢力となり、それに対してイギリスはフランス、ロシアと三国協商を形成して対抗した。 2. 日本はイギリスと日英同盟を結んでいたため、ヨーロッパでの対立には関与せず、三国同盟と三国協商のどちらの陣営にも属さない中立の立場を維持した。 3. フランスはドイツとの友好関係を重視して三国同盟に加わり、イギリスや日本、ロシアによる三国協商の勢力拡大を阻止しようとした。 4. オーストリアはロシアとの連携を強めるために三国協商に参加し、イギリス、フランスとともにドイツやイタリアを包囲する体制を整えた。
- 問8 明治時代後半の1889年、近代国家の枠組みを整えるために大日本帝国憲法が公布されました。この憲法の定めに従って行われるようになった政治形態を何とといいますか。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
1. 立憲政治 2. 民主主義 3. 律令政治 4. 専制政治
- 問9 19世紀末から20世紀前半にかけて、日本は近代化を進め国際社会での役割を広げていきました。この時期の出来事である「板垣退助による自由党の結成」「野口英世の義和団事件での医療活動」「新渡戸稲造の国際連盟事務次長への就任」を、発生した時期の古い順に並べたものとして正しいものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
1. 義和団事件での活動 → 自由党の結成 → 国際連盟事務次長への就任 2. 自由党の結成 → 義和団事件での活動 → 国際連盟事務次長への就任 3. 自由党の結成 → 国際連盟事務次長への就任 → 義和団事件での活動 4. 国際連盟事務次長への就任 → 自由党の結成 → 義和団事件での活動
- 問10 1870年代の明治政府による産業育成（殖産興業）の動きをまとめた記述において、群馬県に設立された西洋式の官営模範工場の名称として正しいものはどれですか。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
1. 三菱長崎造船所 2. 足尾銅山 3. 八幡製鉄所 4. 富岡製糸場
- 問11 1894年の日清戦争から1905年の日露戦争にかけて、日本を取り巻く国際情勢は激しく変化しました。この時期に起こった次の4つの出来事について、時系列として正しい並び順になっているものはどれですか。 (2020年 高知県公立入試 類似)
1. 日英同盟の締結 → 三国干渉 → 義和団事件 → 日露戦争の開戦 2. 義和団事件 → 三国干渉 → 日英同盟の締結 → 日露戦争の開戦 3. 三国干渉 → 義和団事件 → 日英同盟の締結 → 日露戦争の開戦 4. 三国干渉 → 日英同盟の締結 → 義和団事件 → 日露戦争の開戦
- 問12 2004年から発行された千円札の肖像として、野口英世が選定された基準や背景について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 奈良県公立入試 類似)
1. 学校の教科書にも登場して知名度が高く、これまでに例のない科学者を肖像として採用するという基準 2. 近代経済の基礎を築いた人物として、新しい資本主義の形を示した実業家を採用するという基準 3. 女性の社会進出を象徴するため、日本初的女子留学生として活躍した文化人を採用するという基準 4. 明治維新以降の政治的混乱を収束させ、内閣制度を確立した政治家を採用するという基準
- 問13 1894年に陸奥宗光が領事裁判権の撤廃に成功した後、1911年に外務大臣の小村寿太郎がアメリカとの交渉によって実現した、日本が輸入品に対して課す税の割合を自国で決定できる権利の回復を何というか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
1. 関税自主権の回復 2. 領事裁判権の撤廃 3. 治外法権の承認 4. 最恵国待遇の獲得

答え合わせ・解説

問1	答え 1 樺太	1875年に日本とロシアの間で締結された「樺太・千島交換条約」により、それまで日露の雑居地（両方の国の人が住む境界が曖昧な土地）とされていた樺太をロシア領とし、代わりに日本が千島列島のすべてを領有することが決められました。
問2	答え 1 国会の開設や憲法の制定	板垣退助らによる民権議院設立建白書の提出をきっかけに始まったこの運動は、一部の藩の出身者が実権を握る藩閥政治を批判し、議会政治の実現を求めたものです。全国で演説会が開かれたり、各地で憲法の草案（私擬憲法）が作成されたりするなど、日本の近代化における民主化の要求として重要な役割を果たしました。
問3	答え 2 ロシアが自国の東アジア進出を有利にするため、日本が獲得した遼東半島の返還を要求した。	南下政策を進めていたロシアは、日本が中国大陸の拠点である遼東半島を領有することを強く警戒しました。そのため、フランス・ドイツを誘って日本に圧力をかけました。この干渉に屈した日本は、ロシアへの敵対心を強め、「臥薪嘗胆（がしんしょうたん）」を合言葉に軍備拡張を進め、のちの日露戦争へとつながる背景となりました。
問4	答え 3 生産の機械化が進んだことで製品の輸出が可能になり、工場で働く労働者が急増して近代的な社会構造が形成された。	明治政府は欧米列強に対抗するため、官営模範工場の設立などを通じて「殖産興業」を推し進めました。その結果、製糸業や紡績業といった軽工業を中心に生産の機械化が進み、海外への輸出が盛んになりました。これに伴い、農村から都市の工場へと働き手が流入し、1880年代から1900年頃にかけて工場労働者の数が激増するなど、日本は近代的な労働社会へと変貌を遂げました。
問5	答え 3 五箇条の御誓文	明治新政府が発足した直後の1868年に出された方針です。旧来の因習を打破し、広く知識を世界に求めることや、合議によって物事を決定することを宣言しました。これはその後の近代化に向けた改革の出発点となりました。
問6	答え 2 一定の直接国税を納めた25歳以上の男子による投票で選出された	帝国議会は、皇族・華族や勅任議員で構成される「貴族院」と、国民の投票によって選ばれる「衆議院」の二院制で構成されていました。衆議院は国民の意思を反映する場として設置されましたが、当初は「直接国税15円以上を納める25歳以上の男子」という厳しい納税制限があったため、実際に投票できたのは全人口の1%強に限られていました。
問7	答え 1 ドイツはオーストリア、イタリアと三国同盟を結んで中心勢力となり、それに対してイギリスはフランス、ロシアと三国協商を形成して対抗した。	当時のヨーロッパは、中央ヨーロッパに位置するドイツ・オーストリア・イタリアの「三国同盟」と、それを囲むように位置するイギリス・フランス・ロシアの「三国協商」という二大ブロックに分かれていました。日本は日英同盟を通じてイギリスと結びついていたため、第一次世界大戦が始まると協商国（連合国）側で参戦することになります。オーストリアはバルカン半島をめぐるロシアと対立していたため、ドイツとの同盟を重視していました。
問8	答え 1 立憲政治	明治政府が近代化の一環としてアジアで初めての近代憲法である大日本帝国憲法を制定したことにより、法に基づいて政治を行う体制が整いました。これは、それまでの天皇や一部の藩閥が絶対的な権力を持つ政治から、憲法という最高法規によって権力に制限をかけ、政治運営を行う仕組みへの転換を意味します。
問9	答え 2 自由党の結成 → 義和団事件での活動 → 国際連盟事務次長への就任	板垣退助が日本初の政党である自由党を結成したのは、自由民権運動が激化した1881年（明治14年）のことです。その後、1900年（明治33年）に清で発生した義和団事件に際して、野口英世が医官として現地で活動しました。第一次世界大戦後の1920年（大正9年）に国際連盟が設立されると、新渡戸稲造がその事務次長に就任し、「太平洋の橋」となるべく尽力しました。したがって、自由民権運動、明治後期の国際紛争、大正期の国際協調という流れになります。
問10	答え 4 富岡製糸場	明治政府は、日本の主要な輸出製品であった生糸の品質向上と増産を図るため、1872年にフランスの技術を導入した模範工場を群馬県に設立しました。これが富岡製糸場であり、全国から集まった工女たちが技術を学び、各地に広める役割を果たしました。八幡製鉄所は日清戦争後の1901年に稼働した重工業施設であり、時代や目的が異なります。
問11	答え 3 三国干渉 → 義和団事件 → 日英同盟の締結 → 日露戦争の開戦	日清戦争の講和条約である下関条約の直後（1895年）、ロシア・ドイツ・フランスが遼東半島の返還を求めたのが三国干渉です。その後、清で排外主義運動である義和団事件（1900年）が起ころ、これに出兵したロシアが満州に駐留し続けたため、日本は1902年にイギリスと日英同盟を結んでロシアに対抗し、1904年の日露戦争へと至りました。
問12	答え 1 学校の教科書にも登場して知名度が高く、これまでに例のない科学者を肖像として採用するという基準	2004年の紙幣刷新における肖像の選定では、偽造防止の観点から精密な写真が残っていることに加え、広く国民に親しまれている文化人であることが重視されました。野口英世は、科学者としての高い知名度と、その功績が教科書等を通じて広く知られていたことから千円札に採用されました。
問13	答え 1 関税自主権の回復	明治政府にとって、幕末に結ばれた不平等条約の改正は悲願でした。1894年に陸奥宗光が領事裁判権（治外法権）の撤廃を実現させた後、1911年に小村寿太郎が日米通商航海条約を調印することで、自国の産業を保護するために重要な「関税を自主的に決める権利」を完全に取り戻しました。これにより、日本は法権と税権の両面で欧米諸国と対等な立場になりました。